

JIS

滑り軸受—記号—第1部：基本記号

JIS B 0163-1 : 2007

(JSME/JSA)

平成 19 年 4 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 園 成 夫	東京電機大学
(委員)	相 羽 繁 生	社団法人日本ばね工業会
	石 丸 尋 士	社団法人自動車技術会
	大 山 忠 一	社団法人日本バルブ工業会
	桑 田 浩 志	財団法人日本規格協会
	小 林 正 彦	社団法人日本工作機械工業会
	佐々木 信 也	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 橋 勝 良	社団法人日本ベアリング工業会
	飛弾野 文 英	日本工具工業会
	丸 山 一 男	工学院大学
	望 月 正 紀	社団法人日本ねじ工業協会
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.4.20

官 報 公 示：平成 19.4.20

原 案 作 成 者：社団法人日本機械学会

(〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 TEL 03-5360-3500)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本機械学会(JSME)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 7904-1:1995, Plain bearings—Symbols—Part 1: Basic symbols を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

JIS B 0163-1 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

JIS B 0163 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS B 0163-1 第 1 部：基本記号

JIS B 0163-2 第 2 部：応用記号

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 基本文字記号.....	1
4. 追加記号.....	1
4.1 下付き文字.....	1
4.2 上付き文字.....	2
5. 基本文字記号, 下付き文字及び上付き文字の適用並びに識別.....	2
6. 記号及び用語.....	2
6.1 基本文字記号 (アルファベット)	2
6.2 基本文字記号 (ギリシャ文字)	4
7. 追加記号.....	5
7.1 下付き文字.....	5
7.2 上付き文字 (X の上に示されている記号)	8
附属書 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表.....	9
解 説.....	13

滑り軸受—記号—第 1 部：基本記号

Plain bearings—Symbols—Part 1: Basic symbols

序文 この規格は、1995年に第1版として発行された ISO 7904-1:1995, Plain bearings—Symbols—Part 1: Basic symbols を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書（参考）**に示す。

さらに、ISO規格で「—」にて定義されている文字記号は、内容を変更せずそのまま定義する。

1. 適用範囲 この規格は、滑り軸受分野で一般的に使用される基本記号について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 7904-1:1995, Plain bearings—Symbols—Part 1: Basic symbols (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0163-2 滑り軸受—記号—第 2 部：応用記号

備考 ISO 7904-2:1995, Plain bearings—Symbols—Part 2: Applications からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

3. 基本文字記号 基本文字は、一文字、二文字又は三文字の大文字及び／又は小文字で構成する。変数は斜体で、短縮語はローマン体で表記する。

例 *N*（回転速度）

S₀（ゾンマーフェルト数）

HRC（ロックウェル硬さ C スケール）

4. 追加記号

4.1 下付き文字 下付き文字は、一つから三つの文字、アラビア数字、又は文字とアラビア数字との組合せで構成する。通常、下付き文字の最初の文字は、その文字によって意味される英語の概念の頭文字に対応する。その後続く文字もこの概念に基づく。使用する表現は、可能な限り短くするのがよい。

記号が変数に対応する場合は、斜体で表し、短縮語の場合は、ローマン体で表記する。

例 *c*=circular

cr=critical